

# パーマスターWE パテ

|     |  |  |
|-----|--|--|
| タイプ | エポキシ樹脂パテ   |  |
| 特長  | ①水中での塗付作業性、硬化性が優秀<br>②エポキシ樹脂系塗膜との付着性が良好<br>③防食性が良好<br>④無溶剤形で中毒の危険がない |  |
| 用途  | 鋼管杭、鋼矢板などの海洋構造物等の部分補修用 水中塗付形防食用被覆材及び亀裂充填、目地等のライニング用パテ                |  |

塗料性状 混合比率（質量比） ・ 主剤：硬化剤 = 1：1  
 色 ・ ・ ・ ・ ・ グレー、ブルー  
 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.66 g/mL  
 粘度 ・ ・ ・ ・ ・ パテ状（25℃）

容量NV ・ ・ ・ ・ ・ 100%  
 重量VOC ・ ・ ・ ・ ・ 0.0wt%

|       | ウェットハンド法の場合           | ウェットハンド法の場合            |
|-------|-----------------------|------------------------|
| 標準塗付量 | 6000 g/m <sup>2</sup> | 10000 g/m <sup>2</sup> |
| 標準膜厚  | ドライ 3000 μm           | ドライ 5000 μm            |
|       | ウェット 3000 μm          | ウェット 5000 μm           |

|              | 10℃ | 20℃  | 30℃  |
|--------------|-----|------|------|
| 乾燥時間・・・ 指触硬化 | —   | —    | —    |
| 塗装間隔・・・ 最短   | —   | 20時間 | 16時間 |
| 可成時間・・・      | —   | 5日   | 5日   |
|              | —   | 30分  | 15分  |

塗装条件 塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ ウェットハンド法  
 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度：18℃以上、湿度：—～%R.H.  
 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ用シンナーA（洗浄用）、希釈率：0%  
 素地調整 ・ ・ ・ ・ ・ 鋼板・鋼材に直塗り ISO Sa2 1/2またはISO St3。  
 パーマスターWE200、WE300またはエポキシ樹脂系塗膜（この場合はパワーツールによる面荒らしが必要）  
 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ —  
 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ —

使用上の注意 ①主剤と硬化剤を規定の比率で混合し、均一になるよう十分に混合（練り合わせ）下さい。  
 ②「パーマスターWEパテ」はシンナーによる希釈は行わないで下さい。  
 ③ポットライフが短いので必要量のみ計量して混合し、時間内に使用下さい。  
 ④「パーマスターWEパテ」と「パーマスターWE200・300」を塗り重ねる場合は、必ず「パーマスターWEパテ」が上になるように塗付願います。  
 ⑤「パーマスターWEパテ」は、防食皮膜の部分的な補修の場合に用い、大面積の防食には「パーマスターWE200、WE300」を使用願います。  
 ⑥SDSおよび容器に表示の注意事項を良く読んで取り扱い下さい。

荷 姿 20kgセット

| 危険物表示     | 主剤        | 硬化剤  |
|-----------|-----------|------|
| 消防庁登録記号   | —         | —    |
| 引火点       | —℃        | —℃   |
| 消防法危険物区分  | 非危険物      | 非危険物 |
| 爆発限界（体積%） | 下限 —、上限 — |      |
| 有機溶剤区分    | —         |      |

備 考 ①硬化後の色相や表面状態は、硬化条件（水中・気中硬化、没水までの時間、硬化温度等）によって、相違が生じる事があります。  
 ②標準塗付量は標準的な目安を示したもので被塗物の形状その他の条件により異なります  
 ③「パーマスターWEパテ」は、混合・塗付・硬化反応時に水質が汚濁することがあります。  
 ④「パーマスターWEパテ」は、淡水域では皮膜表面に水和層が形成されやすく、正常な皮膜性能が損なわれる場合があり、淡水では使用できません。  
 ⑤塗料密度、VOC量は、塗料配合から計算した値です。

注）標準塗付量は標準的な目安を示したもので、被塗物の形状・その他の条件により異なります。

本製品説明書に記載されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。